

大黒  
ふ頭に

～水素を活用した港のスマート化に向けた一歩として～

# 自立型水素燃料電池を設置しました！

横浜市では、平成 26 年 12 月に改訂した横浜港港湾計画において、エネルギー利用の効率化、低炭素化、災害時における事業継続性の確保等の港のスマート化に取り組んでいくこととしました。

その一環として、横浜港流通センターをモデル施設と位置付け、電力ピークカットや非常用電源の活用等の実証実験のため導入を進めてきた自立型水素燃料電池システムの設置が完了し稼働を開始しました。そこで、システムの概要や実証実験の内容等について現地で報道機関向けに説明会を行いますのでお知らせします。

## 1 自立型水素燃料電池システムの概要

### (1) 設置場所

横浜港流通センター駐車場

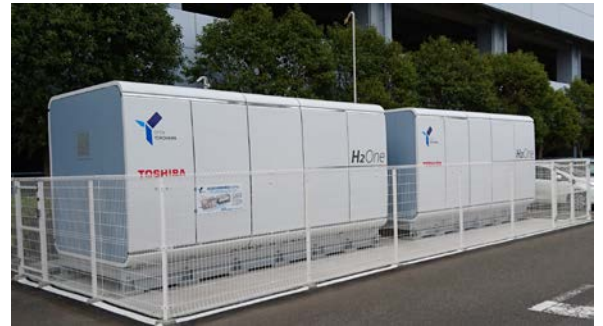
### (2) システム概要

水道水を電気分解して取り出した水素を貯蔵し、必要な時に貯蔵した水素を燃料として発電します。災害時には系統電力に頼らずに自立運転し、情報収集等に必要な電力を確保します。

なお、28 年度に太陽光発電設備を設置し CO<sub>2</sub>フリーの発電システムとする予定です。

### (3) 実証実験の内容

- ・電力ピークカットを目的として、電力デマンド抑制効果や電気料金抑制効果などの実証を行います。
- ・災害時の事業継続に必要な緊急用電源として運転する時の燃料電池の稼働方法等について実証を行います。



## 2 報道機関向け説明会の開催について

### (1) 日時

平成 28 年 4 月 21 日 (木) 午前 10:00～11:00

### (2) 場所

横浜港流通センター駐車場 (横浜市鶴見区大黒ふ頭 22 番地)

### (3) 内容

- ・主旨説明 (横浜市港湾局)
- ・システム説明 (株式会社東芝)
- ・質疑応答

### (4) 取材について

当日取材をご希望の際には、取材申込書 (裏面) をご送付下さい。

締切：平成 28 年 4 月 18 日 (月) 午後 4:00 まで

お問合せ先		
港湾局政策調整課担当課長	林 総	Tel 045 - 671 - 7373

(裏面あり)

# 「自立型水素燃料電池システム」取材申込書

申込締切: 4月 18 日(月) 午後 4:00 まで

送付先: 横浜市港湾局政策調整課

FAX 045-671-7310

または

e-mail kw-seisaku@city.yokohama.jp

報道機関名			
氏名(カナ)		氏名	カナ氏名
※複数の場合は、 全員の名前を 記入してください			
連絡先	電話(携帯可)		
	FAX		
	e-mail		
来場方法		車(社用・自家用)・タクシー・公共交通機関	

※当日は腕章の着用をお願いします。

## ■交通アクセス

- [自動車]・首都高速湾岸線・首都高速 5 号大黒線「大黒ふ頭出口」看板目印に進み、出口左折し道なり  
 ・本牧からベイブリッジ下、国道 357 号線を通り、大黒ふ頭へ  
 ・国道 15 号線から信号「大黒町入口」を大黒ふ頭方面に曲がり、大黒大橋を渡り大黒ふ頭へ
- [バス]・市営バス 17 系統 鶴見駅前発 急 L8 バース・流通センター経由鶴見駅前ゆき  
 「流通センター」下車 徒歩すぐ

